

# 会 議 記 録

作成部局課名 丸子地域自治センター 地域振興課

開催日	平成 20 年 7 月 18 日(金曜日)	開催時刻	13 時 30 分から 14 時 17 分
会議名	丸子地域協議会(平成 20 年度第 4 回))		
出席者	委員 13 名(欠席者 7 名)		
会議次第			
1 開会(佐藤センター次長)			
2 会長あいさつ(片桐会長)			
<p>前月は、丸子地域のわがまち魅力アップ応援事業の選考を、大変長時間にわたり慎重に審議していただきましてお礼を申し上げます。丸子町住民提案型事業の実績もあり、大変内容が良かったと思っています。提案いただいた事業が立派な成果が上がりますよう期待しています。</p> <p>熱意ある皆さんに負けないように協議会としましても何か魅力ある地域づくりに提案できればと思います。本日グループ討議を行いますけれども、市へ一つでもいいですから提案できるように皆さんにご協議いただきますようお願いいたします。</p>			
3 報告事項(進行：片桐会長)			
(1) 平成 20 年度わがまち魅力アップ応援事業プレゼンテーション選考の結果について (担当課：地域振興課)			
<p>報告要旨</p> <p>[上田市全体の状況] 60 団体から応募。各協議会で公共性、妥当性、効果効率、継続性などの視点から審査し 53 事業が採択。採択金額は約 2,700 万円。</p> <p>[丸子地域について] 6 月 30 日付で市長への意見書とその回答書の写しをもって通知。委員の皆さん方の意見を集約し、結果 15 団体を採択とし交付決定額は 440 万円とした。「長瀬地区自治会連合会」と「丸子史料研究会」は、目的が史跡ウォーキング遊歩道の整備ということで、お互いに協力しあって事業を進めていくことにより、より効果が見込めるのではないかとということで、2 団体合同で事業を行っていく条件で採択。「丸子史料研究会」については、研究結果をまとめる時点において事業に応募していただきたい。「お産を考える会はぐHUG」については、丸子地域外の同様な事業を計画している団体と共同で活動していくことを検討していただくことを条件として採択。その他予算を 170 万円ほど超過したということで、全団体に対して補助金の減額を査定して通知した。来年度も予算オーバーというような状況。補助金の中で工夫して事業を進めていただきたい。今回のプレゼンテーションの選考は、地域協議会の後、限られた時間の中で大変難しい協議をお願いした。今後は、円滑に進めるように検討していきたい。</p> <p>[追加募集について] 全市で 2,700 万円の金額が採択され、丸子、神科・豊殿、塩田、全</p>			

市対象以外は申し込み団体数が少なかったということで予算が 1,240 万円ほど残っている。8 月 1 日から 29 日まで期間で追加募集する。広報うえだに 8 月 1 日号に掲載予定。あわせて今回全地域で採択された結果、団体名・事業名が掲載される予定。

今回応募が少なく予算配当の残がある 5 地域の協議会が優先的に採択となる。それでも予算に達しない場合は、予算内で地域間調整を行うということになっていて、丸子地域にも追加配当があるのではないかと期待している。その場合、各団体に再配当を考えている。

資料 わがまち魅力アップ応援事業補助金の予算配分、及び追加募集について  
平成 20 年度わがまち魅力アップ応援事業 1 次募集採択事業一覧表

質疑なし。

#### 4 調査研究事項（進行：片桐会長）

##### （1）第 2 回丸子地域協議会グループ別討議内容の報告について

###### 説明要旨

###### [第 2 回丸子地域協議会グループ討議いただいた内容の報告]

- ・ 第 1 グループ：
  - 甲田委員も出席された。
  - 特色ある事業をやっていききたいということで今後、住民に反映されるような事業を討議してその事業を進行していきたい。
- ・ 第 2 グループ
  - 依田川リバーフロント事業で進めてきた 19 年 11 月 7 日以降の経過がわからないので、それをまず具体的に資料として集めるということが一番。
- ・ 第 3 グループ
  - 話し合いのルールを確認のうえ、それぞれの委員から地域のこと、協議会のことに関しまして考えていることなどを出した。わがまち魅力アップ事業や下水道、それから自治会の力に関すること、少子高齢化、お年寄りと自治会のあり方ほか、さまざまな話が出た。次回は、地域協議会の方向性についてもう少しきちんと考えたいということ、この地域の特色を作るために地域予算をどう活用していったら良いか、優先順位を含めて検討する必要があるのではないかと。
- ・ 第 4 グループ
  - 地域予算のあり方でまだはっきりしない部分がある。
  - 依田川リバーフロント事業については、できるだけ早い機会に事業が進められるようなことを考えたほうが良い。地域まちづくり方針 7 項目について、いろんな分科会を設けて、できるだけ精力的に他の項目についても考えを答申できるようなこと

をしていったほうがいいのではないか

資料 第2回丸子地域協議会「グループ別討議」内容

## (2) 依田川リバーフロント市民協働事業について

### 説明趣旨

第2回丸子地域協議会グループ討議の次回取上げる事項として多かった「依田川リバーフロント市民協働事業」を統一テーマとして本日からしばらく話し合っていきたい。その他のテーマは自由にグループ毎話し合っていきたい。

### 意見

(委員) 私達第4グループでの討議では、今回のグループはあくまでも、本格的なテーマを決めてそのテーマを取り組んでいくためのグループを結成するための予備的なグループなんだというのが4名の共通した考え方。従って、どういうテーマを丸子地域協議会として取上げて、それをどう取り組んでいくのかということをしてできるだけ早く決めて、そのグループを立上げ早く移行していく必要がある。

グループ討議をしていただく前に、自然の保護・保全についての活用例と、依田川・内村川合流点の現状について説明していただく。中丸子親水公園の活用例の説明は成澤委員。成澤委員は、中丸子親水公園の活動を実践していて、「依田川リバーフロント市民協働事業」の基を提案したグループリーダー。

### ①中丸子親水公園の活用例について説類（成澤啓輔委員）

中丸子地域の依田川橋近辺は、ずっと昔から車の中へ入れる状態で、不法投棄の場所になっていた。平成3年頃からごみを片付け。県や市の条例等で不法投棄の規制あるが、特定が難しくいつまで経ってもごみの山が続いていた。平成10年頃行政にどうにかならぬと話した中で、ここの地域の整備計画を県へお願いし、平成13年に整備計画の許可をいただいた。それから本格的に重機を入れるなどして日曜日とか休日等にごみの撤去、アカシアの撤去等を行った。その当時丸子地域では、下水道の工事の時期にぶつかっていたので、何千台もの残土をここへ入れた。平成13年に初めて花壇を少し作った。平成13年に中丸子やまびこ会という会を結成、多いときは会員でない人まで含めて40名、50名という規模の中で整備した。重機で県の許可のもとにアカシアを120本くらい抜いた。全部ボランティア。石も全部私とそれから友達等で積んだもの。NHKが取材に来るなど、かなり認知をされながら行っている。中学生は、植樹、草取り他、北中の授業の一環でやっている体験学習で来ている。多いときは60名、現在は月2回のペースで41名北中の子どもが来ている。いかだを作った川くんだり、毎年10回くらいのペースで河川の水質調査もやっている。子ども達に参加させ、かなり成果を上げている。平成16年にはコミュニテ

イ助成事業（宝くじの事業資金）で造成整備した。今年、「ばら公園」にするという構想があり、コミュニティ助成事業の申請し許可をいただいたので 200 万円で今年中に「ばら公園」を作る予定。堤防道路だいたい 200 メートルあるその手前 100 メートルをばら公園にする。今はアレチウリが繁殖しているが、お盆までに全部刈って撤去する予定。公園にして手を加えながらみんなで管理しないと、こういうアレチウリとかアカシアの撤去もできないという状態。

この整備面積は、川の中まで入れて約 10,000 m<sup>2</sup>、手を加えながら花壇にできるところが 3,000 m<sup>2</sup> (1,000 坪) で、今は 600 坪くらい整備できている。後全部やると 1,000 坪くらいの小公園ができるということで、かなりエネルギーのいることだが、やればできると思っている。

依田川リバーフロント構想 平成 10 年頃、国土交通省のほうで河川を住民の親しめるものにしようということで 5 回くらい審議会を開いている。当時丸子町時代にもやはり、今回提案している体育館の北側について整備しようという構想があったが、日の目を見ないで終わっている。今回提案した 10,000 m<sup>2</sup>。行政にはどうしてもお願いしないといけない許可の面とかがあがるが、できるだけ手作りの公園を目指してぜひみんなで協力してやっていけばいいんじゃないかと思う。1 月 21 日に市からの回答書を見ると、立上げから、いろんなフォローをしていただけるように解釈しているので、よろしくお願ひしたい。

## ②依田川・内村川合流点の現状について説明（中村主査）

### [拠点か所の現状]

- ・ 不燃物最終処分場 1972 年に埋め立て開始。現在は埋め立てしておらず休止状態。ガラスくず、陶磁器類の最終処分場。
- ・ 丸子雑排水汚泥処理施設 丸子・武石・地域の家庭雑排水汚泥を処理。昭和 55 年に設置。平成 22 年度に廃止を目標としているが、その時点で 100%下水道のつなぎこみがされておらないので、施設廃止後の雑排水汚泥の搬入処理方法はまだ未定。
- ・ 民間企業 丸子軽合金鋳造所
- ・ 水防庫 シャッターに「丸子町防災資機材地域備蓄施設」と表示。丸子地域の分団ごとに設置されている水防庫の一つで、旧丸子の水防庫。土嚢等水防に関する資機材が入っている。
- ・ 事務所と車庫 依田窪清掃事業協同組合の事務所と清掃車両の車庫。現在 6 台が稼動。事務所では、し尿汲み取りの受付をしている。
- ・ 土砂・資材仮置き場 一番奥部分。地元の用水等土砂上げ等の廃土を仮置き。

### [周囲の状況]

- ・ 2 月に県の河川維持工事で、河川敷のアカシア等伐採除草直後はきれいだったが、現在はアカシア、アレチウリ等が多く茂っている。
- ・ 依田川ウオーキングロード整備 丸子橋から露草橋、依田川ウオーキングロードを整

備中。今年の3月に丸子橋から露草橋までの550メートルを、足腰への負担を軽減されるゴム性舗装工事実施。昨年は、ソウル五輪日本代表の酒井浩文氏を講師に招き依田川ウォーキング講座を実施。

- ・ 信州爆水RUN in 依田川 毎年8月に開催。今年で13回を数え、全国から依田川にランナーが集まる。「日本マラソン100選」にも選ばれている。
- ・ 親水用階段 依田川11箇所設置。場所によってはアレチウリが茂り、川底がえぐられ水辺に行くことができない場所がある。
- ・ 依田内村線沿い 歩道に沿って花桃が植栽されている。今年、わがまち魅力アップ応援事業で応募いただいた辰ノ口自治会では、この依田内村線の延長の辰ノ口バイパスに花桃を植栽する計画。また、丸子修学館の生徒が研究を進めていた義仲桜の苗木の増殖に成功し、昨年12月に記念樹を植栽。
- ・ りんどう橋付近 脇の親水用階段を利用して子どもが水遊びできる。内村川の川底は結構深くなっていて、テトラポットの下もえぐられている状態。テトラポットの景観。

[依田川上流では]

- ・ 腰越の馬坂橋付近 花壇が整備された美しい景観。今年度、コミュニティ助成事業により馬坂橋周辺河川敷に400メートルの遊歩道を作り、花桃も植栽していく予定。

[依田川下流では]

- ・ 中丸子親水公園付近 中丸区で「ばら園」を計画。(コミュニティ助成事業)
- ・ 千曲川との合流点付近 千曲川沿い河川敷にマレットゴルフ場が整備。

以上、依田川・内村川の合流点を拠点として、依田川全体がきれいになるイメージを考えて行ければ良いと思う。

[グループ討議に向けて]

中丸子親水公園の活用例と、依田川・内村川合流点の現状を踏まえて、これから依田川リバーフロント市民協働事業の実現に向けて具体的にどうしていったらよいかグループ討議をしていただきたい。

### ③グループ討議

[グループ討議の前の説明] (佐藤地域振興課長)

- ・ 参加者が少ないため、4つのグループを二つに、第1と第2グループは第3会議室へ。リーダーは桜井委員。第3と第4グループは第4会議室へ。リーダーは生田委員。
- ・ 地域協議会も4月に発足し、本日この問題に始めて集中して討議いただける。かかえる課題はこればかりではないが、協議会の自らの意思として事業を進めようと第1期の委員さんから提案いただいた事業。依田川リバーフロント市民協働事業が市民協働ということを活かして取り組める形として、ぜひとも委員さんの声の中から方向性を見出していただければと思う。成澤委員から中丸子親水公園で中学生まで巻き込んで、

依田川の水質検査までしている川に対する取組みや、先進的に取り組んでこられた石井地区、腰越地区の例も出させていただいた。実際問題とすると依田川・内村川合流点は、最終処分場や汚泥処理場などがある現状だが、平成 22 年度あるいはその次の段階を追いながら市民の皆さんに使っていただける場所になっていければと考えている。幸いなことに丸子地域ほどの地区も依田川や内村川、千曲川など川に関わってくる地域。川を通じて市民協働のまちづくりを進める、これを一つの切り口として市民の中のコミュニティが育ち、子ども達に残せる、お産のできる依田川の美しさというものを作っていける活動のきっかけがこの協議会から始まる気がするので、なにとぞ方向性をみながら十分な討議をしていただきたい。

- ・ 今年度この事業に対して具体的な予算付けはしてないが、事務局からすると、平成 21 年度には地域予算を使って何か具体的な形としてわかるものを事業展開していければと考えている。こうしたらいい、ああしたらいいという意見も踏まえてグループ討議に移っていただきたい。

## 5. その他

- ・ 次回の地域協議会の日程について(事務局)

・ 次回の地域協議会は、8 月 20 日(水曜日)午後 1 時 30 分から丸子地域自治センター 3 階 第 2 会議室 の予定。(お盆や、自治連役員会の日程により金曜日の開催が難しいため)

- ・ まちづくり講演会への参加のお願い

・ まちづくり講演会「進めよう協働のまちづくり」四日市大学 岩崎恭典教授  
・ 8 月 23 日(土曜日)午後 1 時 30 分から 丸子文化会館セレスホール  
協働のまちづくりを考えるきっかけになればということで、委員の皆さんほか、団体・個人大勢の皆さんに参加いただきますようご協力を。

## 6. グループ毎閉会・解散